

公立大学法人宮崎公立大学
平成28年度業務実績に関する評価結果

平成29年8月

宮崎市公立大学法人評価委員会

目次

1	事業年度ごとの業務実績の評価方法	…	1
2	大項目別評価	…	2
1	第2 教育研究等の質の向上	…	2
2	第3 地域貢献、国際化	…	4
3	第4 業務運営の改善及び効率化	…	5
4	第5 財務内容の改善	…	6
5	第6 自己点検・評価及び情報公開・提供	…	7
6	第7 その他業務運営	…	8
3	平成28年度業務実績評価に係る項目別評価結果総括表	…	9
4	全体評価	…	10

1 事業年度ごとの業務実績の評価方法

「項目別評価（小項目別と大項目別あり）」及び「全体評価」により構成する。宮崎市公立大学法人評価委員会（以下「評価委員会」）は、公立大学法人（以下「公立大」）の作成した実績報告書をもとに、公立大の意見を聴取しながら評価を行う。

(1) 小項目別評価（基礎資料）

年度計画の小項目記載事項ごとに、事業の進捗状況・実績について以下の4段階により評価を行う。公立大による自己評価と評価委員会の評価が異なる場合は、その理由等を記載する。

また、特記事項等についても記載する。

Ⅳ	年度計画を上回って実施している
Ⅲ	年度計画を順調に実施している
Ⅱ	年度計画を十分には実施できていない
Ⅰ	年度計画を実施していない

(2) 大項目別評価

(1)の結果を基礎とし、年度計画の大項目（*）ごとに、以下の5段階により、その進捗状況・実績について評価を行う。

なお、特筆すべき点や遅れている点についてコメントを付す。

S	(秀)	特筆すべき進行状況にある（特に認める場合）
A	(優)	計画どおり（すべてⅢ～Ⅳ）
B	(良)	おおむね計画どおり（Ⅲ～Ⅳが9割以上）
C	(可)	やや遅れている（Ⅲ～Ⅳが9割未満）
D	(不可)	重大な改善事項がある（特に認める場合）

* 大項目

教育研究等の質の向上／地域貢献、国際化／業務運営の改善及び効率化
／財務内容の改善／自己点検・評価及び情報公開・提供
／その他業務運営

(3) 全体評価

評価委員会において、「項目別評価」の結果を踏まえ、公立大の業務全体の実績評価について、「記述式」により、年度計画の取り組みを総括する。

また、地域の高等教育機関として更に発展するために、大学の特色ある取り組みやさまざまな工夫について積極的に評価し、広く公表する。

なお、必要に応じて組織や業務の課題や改善点等も記述する。

2 大項目別評価

第2 教育研究等の質の向上

(1) 評価結果及びその判断理由

ア 評価結果

A (優) 計画どおり

イ 判断理由

小項目別の評価を集計した結果、小項目数35項目に対し、その全てにおいて、「年度計画を上回って実施している(Ⅳ評価)」又は「年度計画を順調に実施している(Ⅲ評価)」と評価したことから、A評価(計画どおり)とする。

[参考] 小項目別評価の集計結果 (No.1~35)

小項目数	評価結果			
	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ
35	3	32	0	0

(2) 評価委員会の意見等

ア 特筆すべき優れた事項

【No. 13：効果的な広報活動の展開等】

- ・前年度が評価4で、今年度はさらに充実したように思える。

【No. 15：入試のインターネット出願実施に係る情報発信等】

- ・ネット出願による出願受付業務を円滑に実施できたことを評価する。

【No. 16：研究成果の社会への還元方法の検討】

- ・検討段階から、実際の講師派遣まで実施できたことを評価する。

【No. 18：学生担任制導入の検討】

- ・導入が決定したのなら一歩前進したと評価する。

【No. 19：障がいのある学生の支援のあり方の充実に向けた検討】

- ・教職員研修を実施したことで「検討を行う」から一歩前進したものと評価する。

イ 改善すべき事項

- ・特になし

ウ その他の特記事項

【No. 1：新旧カリキュラムの科目混在による諸問題への対応】

- ・新・旧カリキュラムいずれの学生にも不利益がないように、確実に対応する努力を引き続き重ねることが重要と考える。

【No. 11：カリキュラムと図書館の連携】

- ・「本を読まざるを得ない」環境づくりをさらに推進していただきたい。

【No. 12：新たな推薦入試に関する広報活動や試験の実施】

- ・「学生の確保」全般にかかわることだが、実質倍率と入学者が定員を満たしていない状況との「齟齬」は課題として捉えられているのだろうか。「辞退者」の問題は多くの大学にとって喫緊のテーマではないのだろうか。

【No. 16：研究成果の社会への還元方法の検討】

- ・地道な取り組みであるが、「市民の大学」という視点からも継続してほしい。

【No. 18：学生担任制導入の検討】

- ・学生の自主性の尊重と、担任制による身近な支援の両立、程よいバランスが望まれる。

【No. 19：障がいのある学生の支援のあり方の充実に向けた検討】

- ・障がいをもつ学生の支援は非常に重要な課題だと認識している。個人情報に十分留意しながら、きめ細かい支援をしていく体制づくりが重要と考える。バリアフリーの施設整備にも期待する。

【No. 21：退学率低減に向けた方策の検討及び実施】

- ・1・2年次の支援の重要性が理解できる。窓口の丁寧な対応を学生が求めているものと推察され、今後の継続を期待する。

【No. 24：新たなピア・サポートの導入検討】

- ・今後の取組の充実が期待される計画である。

【No. 28：就職に関する職員間の情報共有と就職支援のスキルアップ】

- ・OJTとしても有効な取り組みと考えられる。

【No. 29：「実践ビジネス教育」の検討及び実施】

- ・大学の「専門学校化」と一線を画すためにも、カリキュラムポリシーにおける明確な位置づけが問われると思われる。

【No. 30：小学校教諭教員免許状取得の推進・支援】

- ・英語教育の長期展望もふまえ、公立大の3ポリシーとの整合性もふまえた取り組みが望まれる。

第3 地域貢献、国際化

(1) 評価結果及びその判断理由

ア 評価結果

A (優) 計画どおり

イ 判断理由

小項目別の評価を集計した結果、小項目数14項目に対し、その全てにおいて、「年度計画を上回って実施している(Ⅳ評価)」又は「年度計画を順調に実施している(Ⅲ評価)」と評価したことから、A評価(計画どおり)とする。

[参考] 小項目別評価の集計結果 (No.36~49)

小項目数	評価結果			
	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ
14	2	12	0	0

(2) 評価委員会の意見等

ア 特筆すべき優れた事項

- ・特になし

イ 改善すべき事項

- ・特になし

ウ その他の特記事項

【No. 36：地域に有益な事業の展開】

- ・「市民の大学」という視点からも継続・推進してほしい。

【No. 37：みやざきCOC+事業の推進】

- ・研究領域の充実も含め、地域の「文化・教育」力の充実のためにもさらに推進していただきたい。

【No. 38：学生ボランティア活動の支援】

- ・PBL的視点を意識的に取り入れることで、大学での学びのレリバンス(有用性)をさらに実感できる場となりえるのではないだろうか。

【No. 39：地域の生涯学習ニーズに応える講座の企画運営】

- ・「市民の大学」という視点からも継続・推進してほしい。

【No. 40：地域研究センターの体制整備】

- ・研究の拠点、学生の教育プログラムとしての役割の周知を図る努力をさらにお願いしたい。

第4 業務運営の改善及び効率化

(1) 評価結果及びその判断理由

ア 評価結果

A (優) 計画どおり

イ 判断理由

小項目別の評価を集計した結果、小項目数15項目に対し、その全てにおいて、「年度計画を順調に実施している(Ⅲ評価)」と評価したことから、A評価(計画どおり)とする。

[参考] 小項目別評価の集計結果 (No.50~64)

小項目数	評価結果			
	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ
15	0	15	0	0

(2) 評価委員会の意見等

ア 特筆すべき優れた事項

- ・特になし

イ 改善すべき事項

- ・特になし

ウ その他の特記事項

【No. 55：各種ステークホルダーの要望や意見等の収集】

- ・研究、教育内容の充実こそが大学におけるステークホルダーへの最も重要な「説明責任」を果たすことであると考えている。

【No. 62：ハラスメント研修の実施と防止・対策の充実】

- ・総合的なハラスメント防止の努力を、地道に、きめ細かく重ねていっていただきたい。

第5 財務内容の改善

(1) 評価結果及びその判断理由

ア 評価結果

A (優) 計画どおり

イ 判断理由

小項目別の評価を集計した結果、小項目数4項目に対し、その全てにおいて、「年度計画を順調に実施している(Ⅲ評価)」と評価したことから、A評価(計画どおり)とする。

[参考] 小項目別評価の集計結果 (No.65~68)

小項目数	評価結果			
	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ
4	0	4	0	0

(2) 評価委員会の意見等

ア 特筆すべき優れた事項

- ・特になし

イ 改善すべき事項

- ・特になし

ウ その他の特記事項

- ・特になし

第6 自己点検・評価及び情報公開・提供

(1) 評価結果及びその判断理由

ア 評価結果

A (優) 計画どおり

イ 判断理由

小項目別の評価を集計した結果、小項目数3項目に対し、その全てにおいて、「年度計画を順調に実施している(Ⅲ評価)」と評価したことから、A評価(計画どおり)とする。

[参考] 小項目別評価の集計結果 (No.69~71)

小項目数	評価結果			
	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ
3	0	3	0	0

(2) 評価委員会の意見等

ア 特筆すべき優れた事項

【No. 70：情報セキュリティの維持向上】

- ・学生及び教職員に対し、それぞれ工夫することで、受講率、出席率を向上させた、目標の「検討する」から前進している点を評価した。

イ 改善すべき事項

- ・特になし

ウ その他の特記事項

- ・特になし

第7 その他業務運営

(1) 評価結果及びその判断理由

ア 評価結果

A (優) 計画どおり

イ 判断理由

小項目別の評価を集計した結果、小項目数5項目に対し、その全てにおいて、「年度計画を順調に実施している(Ⅲ評価)」と評価したことから、A評価(計画どおり)とする。

[参考] 小項目別評価の集計結果 (No.72~76)

小項目数	評価結果			
	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ
5	0	5	0	0

(2) 評価委員会の意見等

ア 特筆すべき優れた事項

- ・特になし

イ 改善すべき事項

- ・特になし

ウ その他の特記事項

【No. 74：地震を想定した避難訓練や救命講習会の実施】

- ・南海トラフ巨大地震が想定される宮崎において、学生及び教職員の安全確保は何より重要な事柄であり、引き続きの努力をお願いしたい。

【No. 75：指定避難所の適正な維持管理】

- ・指定避難所としての役割が適切に十分果たされることが期待される。

3 平成28年度業務実績評価に係る項目別評価結果総括表

対 象 区 分		平成28年度計画										
(大項目)	(中項目)	項目数	評価別内訳				評価別の構成割合(%)				計	平均値
			IV	III	II	I	IV	III	II	I		
(小項目)	報告No.											
第2 教育研究等の質の向上に関する目標		35	3	32	0	0	9%	91%	0%	0%	108	3.09
1 教育に関する目標		15	1	14	0	0	7%	93%	0%	0%	46	3.07
(1)教育内容、方法及び成果に関する目標	No. 1~7	7	0	7	0	0	0%	100%	0%	0%	21	3.00
(2)教育支援体制に関する目標	No. 8~11	4	0	4	0	0	0%	100%	0%	0%	12	3.00
(3)学生の確保に関する目標	No. 12~15	4	1	3	0	0	25%	75%	0%	0%	13	3.25
2 研究に関する目標	No. 16~17	2	1	1	0	0	50%	50%	0%	0%	7	3.50
3 学生支援に関する目標	No. 18~34	17	1	16	0	0	6%	94%	0%	0%	52	3.06
4 大学改革に関する目標	No. 35	1	0	1	0	0	0%	100%	0%	0%	3	3.00
第3 地域貢献、国際化に関する目標		14	2	12	0	0	14%	86%	0%	0%	44	3.14
1 地域貢献に関する目標	No. 36~40	5	0	5	0	0	0%	100%	0%	0%	15	3.00
2 国際化に関する目標	No. 41~49	9	2	7	0	0	22%	78%	0%	0%	29	3.22
第4 業務運営の改善及び効率化に関する目標		15	0	15	0	0	0%	100%	0%	0%	45	3.00
1 組織運営の改善に関する目標	No. 50~52	3	0	3	0	0	0%	100%	0%	0%	9	3.00
2 人事の適正化に関する目標	No. 53	1	0	1	0	0	0%	100%	0%	0%	3	3.00
3 広報活動の充実に関する目標	No. 54~55	2	0	2	0	0	0%	100%	0%	0%	6	3.00
4 ハラスメント防止対策等に関する目標	No. 56~64	9	0	9	0	0	0%	100%	0%	0%	27	3.00
第5 財務内容の改善に関する目標		4	0	4	0	0	0%	100%	0%	0%	12	3.00
1 経営の効率化に関する目標	No. 65~66	2	0	2	0	0	0%	100%	0%	0%	6	3.00
2 自己収入の増加に関する目標	No. 67~68	2	0	2	0	0	0%	100%	0%	0%	6	3.00
第6 自己点検・評価及び情報公開・提供に関する目標	No. 69~71	3	0	3	0	0	0%	100%	0%	0%	9	3.00
第7 その他業務運営に関する重要目標		5	0	5	0	0	0%	100%	0%	0%	15	3.00
1 施設設備の整備・活用等に関する目標	No. 72	1	0	1	0	0	0%	100%	0%	0%	3	3.00
2 安全管理に関する目標	No. 73~76	4	0	4	0	0	0%	100%	0%	0%	12	3.00
合 計		76	5	71	0	0	7%	93%	0%	0%	233	3.07

平成28年度計画	
大項目別における評価	
評価IV IIIの割合	判定
100%	A

100%	A
-------------	----------

100%	A
-------------	----------

100%	A
-------------	----------

100%	A
-------------	----------

100%	A
-------------	----------

4 全体評価

(1) 総評

宮崎公立大学は、「高い識見と国際的な視野を持つ人間性豊かな人材を育成するとともに、広く地域に開かれた大学」という建学の理念のもと、教育研究や地域貢献の充実に積極的に取り組んできている。

このことから、本年度は、6年間の第2期中期目標期間の4年目となる平成28年度の業務実績について、その内容を点検したところである。その結果、評価委員会としては、全体的に、概ね計画を順調に実施できたものと評価したものである。

具体的には、教育研究等の質の向上に関するものとして、

①「平成29年度から開始する大学センター試験を課す推薦入試の広報と実施」について、大学ウェブサイトや高校訪問等、幅広い広報活動を実施するとともに、同試験への準備体制を整えたことにより、募集を超える受験者があり、円滑に実施できたことを評価した。

②「研究成果の社会への還元方法の検討」について、既存の自主講座の見直しを行い、一層の充実が図られるとともに、宮崎市生涯学習課と連携し、平成29年度から公民館講座に教員を講師として派遣することが決定し、還元の機会が今後さらに増えることを期待できることを評価した。

③「履修説明及び履修相談の実施」について、新入生に対しては、オリエンテーションや履修ガイダンスにおいて、履修モデルを基に説明を行い、理解の促進を図るとともに、履修相談会については、当初から計画していた2年生に加えて3年生に対しても実施し、今後も教務部会を中心に組織的に取り組むこととされていることを評価した。履修についての説明や相談は、学生の履修登録への不安や不備解消につながる学生のニーズに合った取組であるといえる。

また、地域貢献、国際化に関するものとして、

④「協定校における異文化実習や公費派遣留学の実施」について、カピオラニ・コミュニティ・カレッジ（KCC）との公費留学制度を新設し、派遣を実現したことを評価した。

⑤「グローバルセンターの運用と更なる活用方法等の検討」について、奨学金に関する情報提供や添削指導を行うなど、生徒の留学を積極的に支援し、留学の実現につなげていることを評価した。

以上、これまでの取組は評価できるものであるが、「人口減少克服・地方創生」の取組において、地方公共団体と大学等が連携し、学生が地域に残るための方策を推進することが求められている中、特に当学は、率先して地域課題の解決に取り組む使命を有していることから、今後も、個性ある大学づくりに教職員が一体となって取り組み、地域に根ざし、地域に愛され、地域に開かれた大学として、一層の発展を期待する。

(2) 今後期待される事項

- ①退学率低減に向けた取組については、支援の重要性が高い1・2年生の担任制を導入することから、その効果や課題を把握し、実効性の確保に努められたい。
- ②「地域に有益な事業の展開」や「地域の生涯学習ニーズに応える講座の企画運営」等については、研究とのバランスをとりながら、「広く地域に開かれた大学」という視点で継続・推進されたい。
- ③ハラスメントの防止・対策については、総合的なハラスメント防止の努力を地道に、きめ細かに重ねられたい。
- ④避難訓練や救命講習会については、南海トラフ巨大地震が想定される宮崎において、学生や教職員の安全確保につながる重要な取組であるため、引き続き積極的に取り組まれたい。